



今年も無事にウミガメ産卵

5/28

市ウミガメ保護監視員の良知正美さん(塩原)が、塩原海岸で早朝、本年度初となるアカウミガメの産卵を確認しました。初上陸が25日に確認されてから、待ち望まれた産卵でした。昨年より10日ほど遅い確認でしたが、ピンポン玉サイズの卵117個が丁寧に掘り返され、市のふ化場に移されました。

◀大切に掘り起こされた卵を見せる良知さん



おいしいお茶づくりを学ぶ

6/7

河原崎静二さん(上朝比奈)の茶工場見学と茶摘み体験が実施され、浜岡東小学校の3年生45人が参加し、お茶の摘み方や荒茶にするまでの工程を学びました。荒茶にする工程を実際に見て触った児童らは「作るときはお茶っ葉って湿ってるんだね」「お茶を作るのは大変そう」と感想を話しました。

◀初めて見る製茶の機械に興味津々な児童



夏の海水浴シーズンを前に

6/10

海水浴シーズンを前に海上保安庁や市商工会青年部、御前崎スマイルプロジェクト、ボランティア団体「BBAG」のメンバーら約20人が連携し、マリパーク御前崎西ビーチで清掃活動を実施しました。同会の松本泰士青年部長は「多くの人々がまた訪れたいと思えるようにきれいな海にしたい」と話しました。

◀ビーチを歩きながらペットボトルなどを拾い集めた



生物と触れ合い自然を知る

6/15

川の生き物と触れ合うことで川を身近に感じてもらうと、新野川・箴川の自然を守る会がさくらこども園と北こども園の園児ら69人にメダカとミナミヌマエビを配りました。同会の樽林優会長は「近年は川が再びきれいになってきている。子どもたちには、自然と一緒に遊んでほしい」と話しました。

◀元気に泳ぐメダカをすくうさくらこども園の園児ら